

いしかわ総合 スポーツセンター



所在地：石川県金沢市稚日野町北222番地
 建築面積：約18,000㎡
 延床面積：約28,000㎡
 構造・規模：S造、SRC造、RC造、地上3階、地下1階
 監修：石川県土木部営繕課
 設計・監理：(株)池原義郎・建築設計事務所
 (株)総合設備計画
 施工：建築/清水・戸田・兼六・みづほ・近藤
 特定建設工事共同企業体
 電気設備その1/第一電気工業・北陸電設
 特定建設工事共同企業体
 電気設備その2/柿本商会・三幸電設
 特定建設工事共同企業体
 工期：平成17年9月～平成20年3月

日本海側最大級のメインアリーナをはじめ、プール、トレーニングルームなどを総合的に備えたスポーツセンター。
 主照明にHID高天井用反射笠器具を分散配置し、
 各種競技レベルに的確に対応した照明制御を行っています。

6,000人収容の日本海側最大級のメインアリーナを 備えた石川県のスポーツ振興の殿堂

石川県のスポーツ振興を図るための中核的拠点施設として「技術の向上」や「生涯スポーツ社会の実現」を目的に整備された「いしかわ総合スポーツセンター」。メインアリーナは縦80m、横46m、最大収容人数6,000名と日本海側最大級を誇り、バスケットボール(コート4面分)、バドミントン(コート16面分)をはじめとする多種のスポーツ競技が可能で、国際大会にも対応できる機能を備えています。このほか、バスケットコート2面分を備えたサブアリーナ、多目的に利用できるマルチパーパスルーム、25m×6コースの室内温水プール、科学的トレーニングを支援するトレーニングルームなどが設けられています。

HID高効率反射笠器具を分散配置し、照明制御システムで各種競技レベルに対応した最適な照度を確保

有効高さ21mの大屋根に包まれた一連のメインアリーナ、サブアリーナ、マルチパーパスルームは、競技空間の間仕切りにガラスを用いて施設全体を見通せる一体感が形成されています。このため、照明は、競技空間の一体感を損なうことのないように高効率と高演色を兼ね備えた1kW・700Wメタルハライドランプの単独光源の増反射膜処理高効率反射笠器具(電動昇降装置付)を分散配置し、照明制御システムの採用で、競技運用に適切なパターン制御・グループ制御を取込み、レクリエーションはもちろん各種競技のJIS公式基準を満足していると共に、競技者・観客に不快なグレアを抑制しています。特にメインアリーナにおいては、国際大会に対応できるよう両サイド1列ずつに1.5kWメタルハライドランプ可変形照明制御器具を設置することで、鉛直面方向の空間照度を高めて団体競技照度基準世界大会(バスケットボールの場合床上1m以上1500lx)をクリアできる仕様としています。

温水プールは、水泳はもちろん浮力や水圧など、水の特性を生かしたトレーニングも行われています。こうした使用目的に合った照明を確保するため、400Wメタルハライドランプ投光器を両サイド配置としてまぶしさを抑制し、壁スイッチにて全点灯(平均照度プール水面500lx以上)、1/2点灯、1/3点灯を可能としています。



メインアリーナの照明 床上約21mの高さに1000Wメタルハライドランプ高天井用反射笠器具を分散配置。両サイド1列ずつには可変形制御器具(M1500W)を採用



3階に設けられている1周300mのランニングコースの照明



可変形照明制御器具



可変形制御器具の操作卓



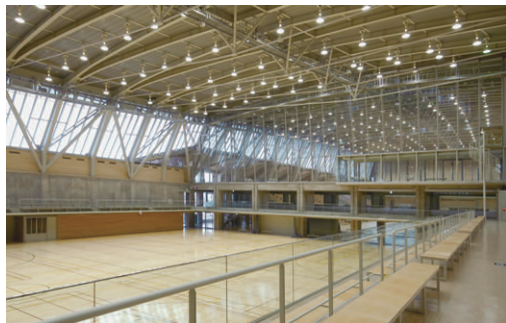
照明制御システム
主操作盤
(中央監視室)



照明制御システム
副操作盤
(総合事務室)



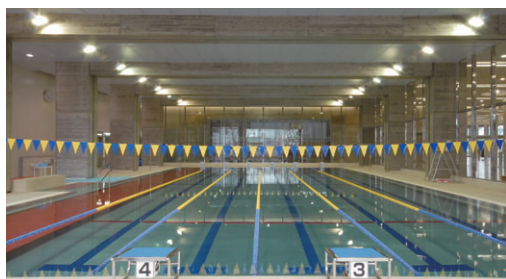
3階から望むメインアリーナの照明 反射笠器具全点灯時で1200lx、両サイドの変形制御器具の点灯を加えると1500lxが得られている



サブアリーナの照明



多目的のマルチパーパスルームの照明



投光器を両サイドに配置した温水プールの照明



ダイナミックに演出されている白山連邦を表現した外観の夜景

■主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
室内	高天井用	SN-10044S	317	1kWメタルハライドランプ
	反射笠器具ガード付 (電動昇降装置付)	SN-10044S	39	700Wメタルハライドランプ
		SN-4051M-DP(改)	17	250Wメタルハライドランプ
		Y-39M2+SN	33	425Wハロゲンランプ
	変形形照明器具 (落下防止ワイヤー付)	SN-15031(改)	24	1.5kWメタルハライドランプ
	ダウンライト	DD-1537C(S)	14	150Wセラミックメタルハライドランプ(ネオセラ)